

感謝と敬意。敬老会を開催しました

九月の連休、敬老の日に『敬老会』を開催しました。例年の通り施設長が全館を回り、感謝と敬意を込めた挨拶を行い記念の花束を贈呈したあと、おひとりずつにメッセージカードを差し上げました。昼食は行事食の『敬老御膳』、赤飯や大きな茶わん蒸しでお祝いをしました。皆さん「おいしい」とお食事を楽しんでいらっしゃいました。



はなさかさかす

社会福祉法人報徳会
広報紙 (季刊)
はなさかさかす
令和2年秋号



『金魚すくいゲーム』や『射的ゲーム』を皆で楽しみました。

八月の最終週にデイサービス恒例の『夏まつり』を開催しました。デイフロアで金魚すくいゲームや射的などを楽しみ、昼食は縁日屋台メニューでお祭り気分満点！はなさか自慢のレトロかき氷機も現役で大活躍して、今年も盛り上がりました。



祭 祭 デイサービスの 夏まつり



「浮立つ」時代を生きる

社会福祉法人報徳会理事 岩壁 清吉

「浮立つ」と聞かれて「喜びや期待で落ち着かない」と答えた人が60・1%いることが判明したという。文化庁が25年前から実施している国語に関する意識や理解度を調べる報告書である。毎年テレビ、新聞でも採り上げられるのでご存じの方も多いのではないかと。

本来の意味である「恐れや不安を感じて落ち着かない」と答えた人が26・1%であったことを《国語の乱れ》と受け止めることよりも「浮」の漢字が、「浮かれる」「ウキウキする」といった言葉を連想させるため、喜びや期待と結びつける新たな解釈広がってきた(『毎日新聞』9/26)と首肯することが何より大切だと考えたい。例えば、世の中・現実世界・人生を表わす「浮世」は、もともと「憂世」から発している。厭うべき辛い世の中を表したこのことは、儚いならば、浮かれて暮らそうと現世を肯定した人たちの心模様そのものではないか。

「憂きこと」より「浮きこと」を願うのは(今日よりは明日)を待つ「はなさか家族」が叶えたい夢でもある。(どちらが正しいということではなく、両方の使い方を知り、世代間などで誤解のないコミュニケーションを図っていくことが大切)(『毎日新聞』同上)ということ。そのまま(とりえとりえがむすばれて、このよはたのしいふえせかい)(二宮尊徳「万象具徳」)がつくられてゆく道筋となる。「コロナ禍」も超えて限りなく。加えて「枯れ木に花咲く」は、一端衰えたものが再び栄えるの喩えだけでなく「枯れ木」の意味は、老木・朽ち木を越えて老練・不朽の木を表し、昔話よろしく「白」や「薪」や「灰」に成り代わり、私たちにもたらされる。まさに「はなさかさかす」。メデタシ、メデタシ。



万華鏡作り体験

花火鑑賞会 2020

毎年8月の第一土曜日は、座間キャンプ花火大会をご覧頂いていますが、新型コロナ対策で、屋上に集まる事ができません。そこで今年には全国の花火大会と盆踊りをユニットのTVでバーチャル体験！お昼のお食事もお祭り風のメニューでお祭り気分を楽しみました。



特養ユニットで、保育室の先生がお手伝いに参加して『万華鏡作り体験イベント』を行いました。完成した作品を覗いて、歓声と笑顔があふれる楽しい時間でした。



車椅子メンテナンス実施

全館73台の車いすのタイヤ交換を行っています。Newタイヤで快適な生活を！



デイサービスの皆さんを見学にご招待してさくら保育園運動会を開催しました。皆さんソーシャルダンスを保ち、子供達のかけっこや玉入れに大きな声援を送っていました。

保育園運動会

1階トイレをリニューアル



1階中央通路のトイレをリニューアルしました。男女に分かれて使い易くなりました。

みんなでつくろう！
★おりづる★プロジェクト★
募集した『みんなで作ろう！おりづる☆プロジェクト』にはなさかデイサービスが参加しました。コロナ渦の中へステイホームのおうち時間を少しでも楽しく過ごせるようにを目的に広く募集したおりづるで壁画を作る企画です。集まった約20万羽のおりづるで完成した壁画がけやき体育館に飾られていますので機会があればご覧下さい！



デイサービスにアクリルパーティーションを導入しました。透明の板で圧迫感の少ない衝立です。



新型コロナウイルス対策

はなさか農園では、オクラの収穫が続いています。8月の後半から2カ月以上収穫が続く息の長い野菜です。採れたオクラは厨房で調理して皆さんのお食事に提供されています。オクラの後はいよいよサツマ芋の芋掘りと里芋の収穫です。



はなさか農園 2020